学校等欠席者･感染症情報システムについて

公益財団法人日本学校保健会

児童生徒を感染症から守りたい

毎年の「インフルエンザ」の流行のみならず、
「はしか」や「新型インフルエンザ」など、
感染症対策の重要性が増している。

学校単位だけでなく、
地域全体で流行状況等の情報を共有し、
関係者が連携して可能な限り
流行早期に対応することが必要。

学校等欠席者･感染症情報システム

■このシステムは感染症で欠席する児童生徒等の発生状況をリアルタイムに把握し、情報を共有することができます。

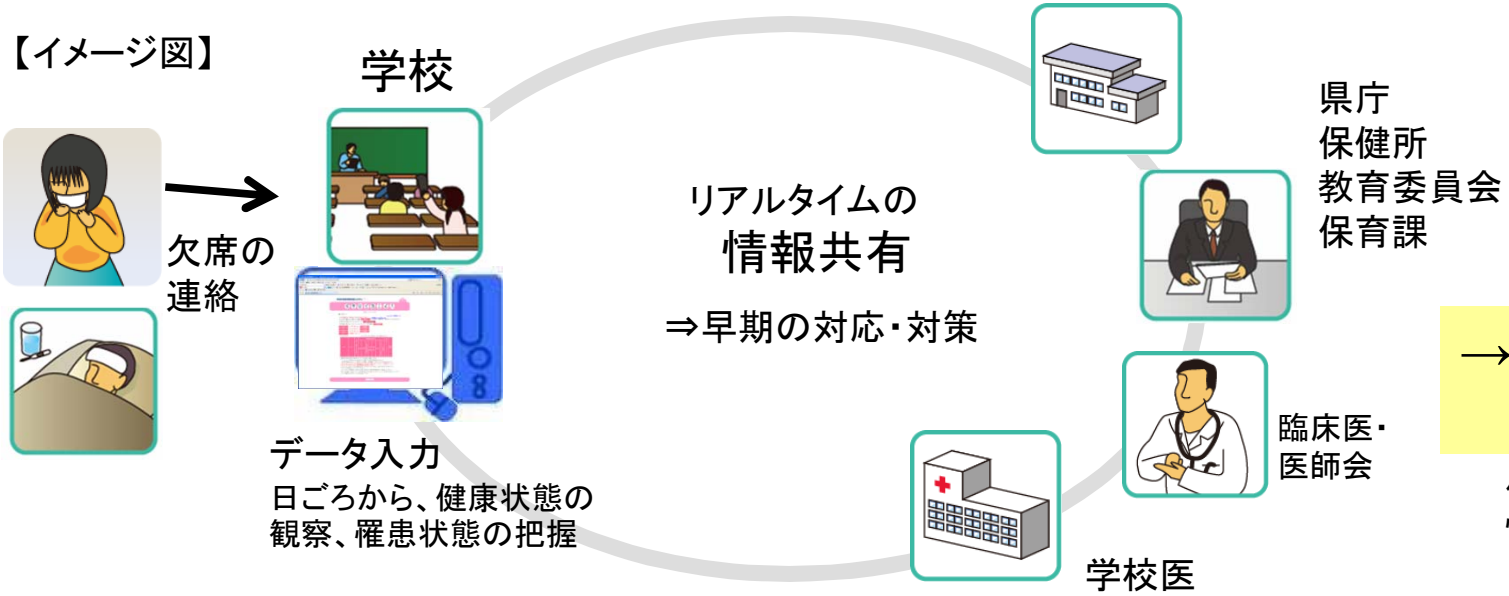
■学校での感染症対策は、的確に記録することが重要です。数日間の変化に着目して感染症の早期発見に活用したり、学校全体のデータとして記録を整理するとともに、地域内での流行状況を把握して、その情報を対策に役立てることが大切です。さらに、教職員、保護者に情報を伝え、子どもの健康管理等の協力を求めたり、学校医等と連携を図りながら活用することが重要です。

■2008年より運用を開始し、現在、全国の学校の約6割、保育園の約4割に導入されています。

学校導入率80%以上　24都道府県、7指定都市

保育園導入率80%以上　11都道府県、5指定都市

【イメージ図】



→　流行探知
早期に対策

保健だよりで各家庭に
情報が提供されます。

学校等欠席者･感染症情報システムのメリット

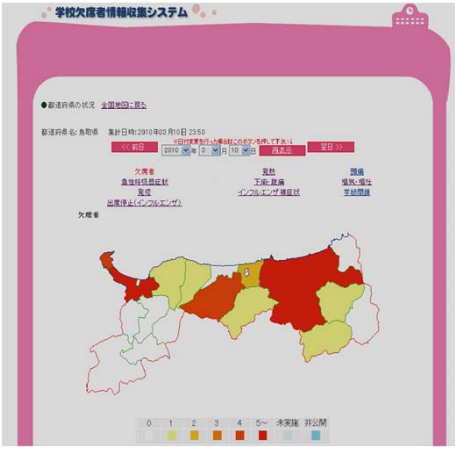
メリット①学校ごとに記録

解析資料を自動作成

集計表、グラフ、地図の表示

メリット②近隣の状況把握

中学校区の地図情報で地域の流行状況が把握できる



メリット③校医等との連携

リアルタイムの情報共有

状況把握の説明なしに相談ができる（学級閉鎖、予防の指導）→早期対応で感染拡大防止へ

メリット④省力化

臨時休業や出席停止等の届をオンライン上で提出

月報の自動作成

メリット⑤導入しやすい

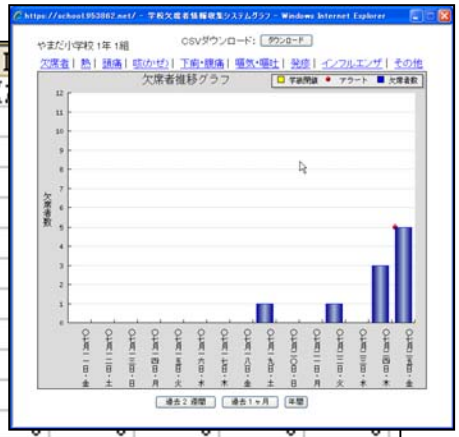
インストールするソフトはいりません。

データ活用

CSVダウンロード

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	報告年	報告月	報告日	学年	クラス	欠席者	熱	頭痛
2	2008	9	21	1年	1組	3	3	1
3	2008	9	21	1年	2組	5	4	3
4	2008	9	21	1年	3組	2	1	1
5	2008	9	21	2年	1組	10	10	0
6	2008	9	21	2年	2組	6	0	0
7	2008	9	21	2年	3組	10	9	0
8	2008	9	21	3年	1組	0	0	0

グラフ表示



学校医へ自動メール送信

差出人: 学校欠席者情報収集システム <info@953862.net> 宛先

件名: 小学校にて以下の欠席者が増えております。 日時: 1

小学校 にて以下の欠席者が増えております。

・総欠席者数 47 人

・欠席者総数 6年 2組 3人
・欠席者総数 6年 3組 5人

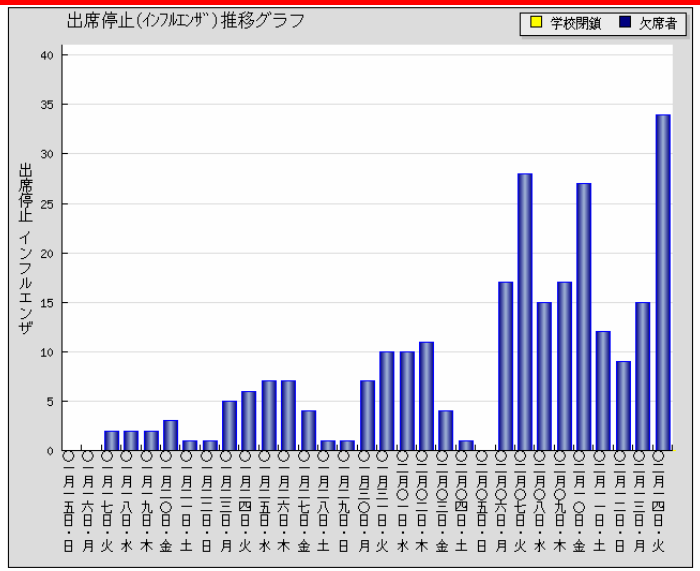
詳細はログインしてご確認ください。
https://school.953862.net/
このメールには返信しないで下さい。

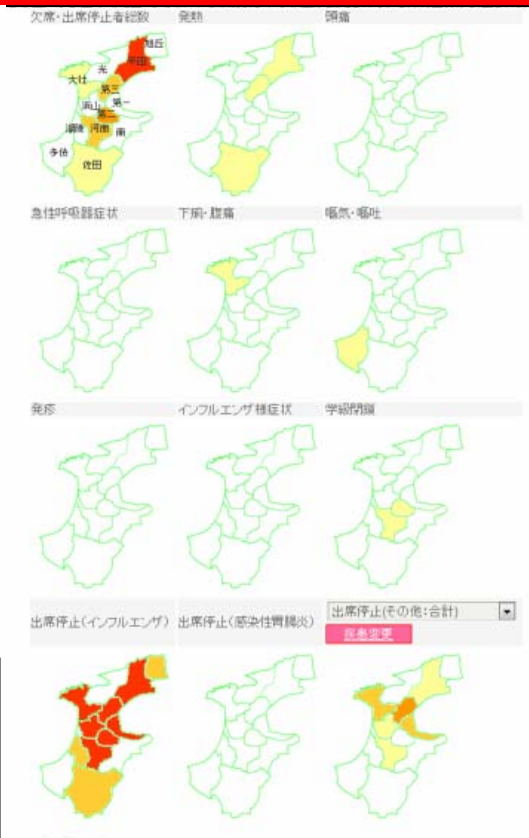
学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖、学校保健法による出席停止の書類を自動作成

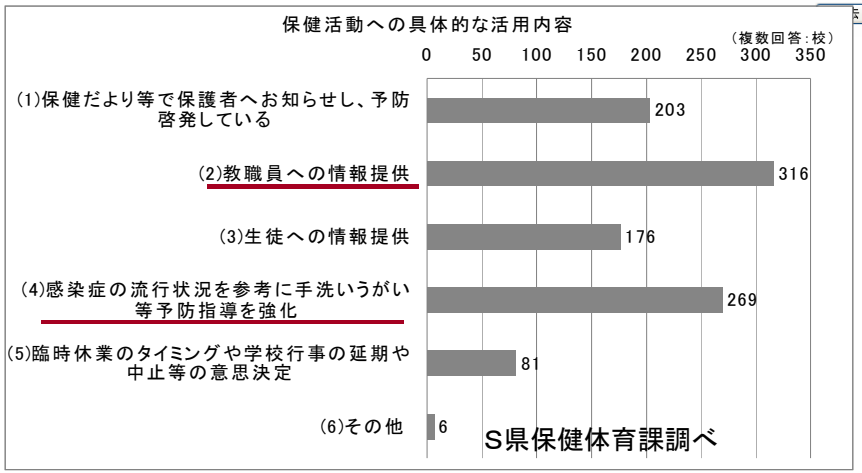
「学校等欠席者・感染症情報システム」役立っている内容

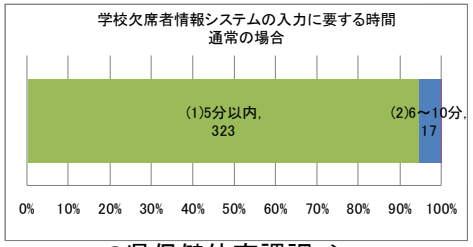
A学校
グラフで感染症の動向が
把握しやすい。地図で地域の
状況がわかるようになった。

B学校
生徒に感染症流行前に予防
指導ができるようになった。
職員にも伝えやすくなった。









S県保健体育課調べ

C学校
入力は慣れたら簡単だった(5分以内)。
感染症の心構えができるようになった。

A教育委員会
今日のインフルエンザ欠席者数が把握でき、
集計する必要がなくなった。
出席停止をオンライン報告とし、学校からの
FAXでの報告はなくなり事務簡素化となった。